

学校と地域の防災連携を考える

学校建設等出前講座 ～東日本大震災の教訓を学ぶ～

平成29年1月14日（土）、平成28年度学校建設等出前講座を津市立北立誠小学校で開催しました。本講座は小学校の土曜日授業を支援する形で、初めて地域の方々を含めた学校と地域が連携した防災の出前講座として取り組み、第1部を児童、第2部を地域、PTA対象に行いました。

当日は、大変寒い中での開催であったにもかかわらず、学習授業226人、地域講座143人と多くの皆さんが参加されました。

講師には宮城県石巻市雄勝町から、東日本大震災の被災体験者である元小学校教員の徳水博志さんを招きました。

徳水さんは雄勝町の被災時の様子や避難から学ぶべき教訓について、大津波の記録映像を使い、巨大地震による津波のメカニズムや地形によって変化する特徴について説明されました。

子どもたちも真剣な表情で話に聴き入り、講師からの質問にも大きな声で、はっきりと答えていました。

震災時、小学校教員として、子どもたちと一緒に避難し、保護者の「緊迫した叫び声」により校舎裏の高台へ逃げ、児童全員の命を守ったこと。その後は児童の心のケア、被災地となった雄勝



町の復興を「花づくり」により被災住民の元気を取り戻そうとしていること。

これらの話は北立誠地域住民、PTAや児童の皆さんの心を動かすとともに、大地震に備えた避難行動を、学校・地域が連携して考えるよい機会となりました。

当日の様子は、三重テレビ、中日新聞等のマスコミにも大きく取り上げられ、公益法人として、県民に対する防災・減災の意識啓発の重要性をあらためて認識しました。



職場で学ぼう！建設技術

市町のご要望に応じた研修を行います

地方自治体職員が必要とする技術のスキルアップのため、行政出前講座を各市町などを対象に実施しています。

内容は各自治体の要望に応じて、



必要とする専門技術、知識の修得を図ることを目的としています。

研修は「出前講座」で各職場において開催するため、時間等のメリットもあり好評を得て、平成19年度以来、19市町等105研修を実施しました。

近年は職階層別研修も支援させていただき、初任者から管理職までの様々な研修を実施しています。

平成22年度から、自治体の協議会研修の事務局支援として、工事検査など現地研修の企画運営を行い、充実した研修の一助をなしています。



《主な研修内容》

工事監督、工事検査、工事施工管理、災害復旧、積算、道路計画設計、舗装技術、仮設工、建設プレゼンテーション、土地区画整理技術公務員の役割、コンプライアンス、工事技術監査など

《実績》

建設技術職員研修

津市、四日市市、松阪市、桑名市、名張市、亀山市、いなべ市、志摩市、伊賀市、明和町、多気町、度会町

団体事務局支援研修

三重県市町工事検査担当協議会
三重県土地区画整理研究協議会



技術の研鑽！建設技術研修

建設技術研修の専門分野では、県市町等職員および民間建設関係社員の技術力の向上を目的として、基礎的な知識を学ぶことに主眼を置き、研修を開催しています。

これらの研修は、大学や関連団体と共催し、現地研修も交え、具体的な実習により修得を図っています。

平成29年度の専門分野では実務、法令、教養、資格受験対策など、新企画研修も含め、25回開催する予定です。

平成27年度から市町技術職員に対し、三重県が研修費を

負担する制度が新たにスタートし、平成28年度もこの制度を活用され、28市町から、21研修234名の皆さんが技術力向上のため受講されました。

建設技術研修は、平成24年3月に公表された「三重県建設産業活性化プラン」において当建設技術センターの専門研修がCPD研修に認定されました。

現在、数多くの民間技術者の皆さんも受講されており、技術力のレベルアップの一助にもなっています。

(H28 CPD実績:205名)

【平成29年度の主な研修】

- ・橋梁点検診断技術
- ・土木工事監督
- ・労働安全足場対策
- ・コンクリート施工技術
- ・基準点測量
- ・災害復旧
- ・情報化施工
- ・建設リスク管理
- ・構造物設計
- ・道路構造令の解説演習
- ・斜面安定抑止対策



編集後記

厳しい寒さも遠のき、春光うらかなシーズンがやってきました。

平成29年度建設技術研修は、専門分野、一般分野とも更に充実を図り一般分野のメインとなる「地域防災出前講座、地域防災講演会」については、今年度も、三重県下へ出向いて研修を展開していきます。

今後は、研修・講演会などを通じて多くの県民の方々との出会いを大切に、当建設技術センターに親しみを感じていただけるよう交流を図り、公益財団法人としての役割を果たしていければと考えています。

